



一般社団法人

日本小児アレルギー学会

Japanese Society of Pediatric Allergy and Clinical Immunology

2021年11月2日

プレスリリース

日本小児アレルギー学会は近年増加の一途にある小児のアレルギー疾患の疫学研究、病態解明研究、治療開発研究の推進を行うとともに、エビデンスに基づく診断／治療の啓発、こどもたちの健康づくりに資するために社会への情報発信を行っています。このたび、受動喫煙が小児のアレルギー疾患に与える影響について科学的評価を行い、「**小児アレルギー疾患に関するシステマティックレビューに基づく受動喫煙防止への提言**」を公表します。

一般社団法人日本小児アレルギー学会

理事長 藤澤隆夫

受動喫煙防止ワーキンググループ担当理事 池田政憲

1. 概要

喫煙が肺がんや虚血性心疾患をはじめとする多くの健康被害を引き起こすことは既に科学的に証明されている¹⁾。しかし、受動喫煙により小児がどのような影響を受けるか、系統的に検証された報告は少なく、小児期のアレルギー疾患との因果関係については不明の点も多い。

日本小児アレルギー学会は受動喫煙防止ワーキンググループを設置、受動喫煙と小児アレルギー疾患との関連性を科学的根拠に基づいて明らかにするために、当領域における8項目の重要課題（clinical question：CQ）を挙げて、これまで報告された多数の疫学研究など医学研究論文をシステマティックレビュー（systematic review：SR）によって検証し、日本小児アレルギー学会誌に公表した²⁾。

このSRの結果、受動喫煙は小児喘息の発症リスク増加と重症化および呼吸機能低下、咳嗽や痰の増加に関与し、胎児期の母親の喫煙は小児喘息の発症および出生時からの呼吸機能低下に関連することが明らかとなった。アレルギー感作についても、受動喫煙は総IgEの上昇と特異的IgEやSPT（skin prick test）の陽性化に、特に乳児期の受動喫煙が食物や室内アレルギー等への感作に有意に関連していた。アレルギー性鼻炎の発症と増悪に関するリスク因子であることも示唆された。

以上、受動喫煙が小児期のアレルギー疾患に及ぼす悪影響は大きく、受動喫煙から小児を保護することは極めて重要である。ここに、受動喫煙防止への6項目の提言をエビデンスレベルおよび推奨度とともに発出する。

- 1) WHO REPORT on the global TOBACCO epidemic、2008
https://apps.who.int/iris/bitstream/handle/10665/43818/9789241596282_eng.pdf?sequence=1
- 2) 池田政憲、吉川知伸、是松聖悟、鈴木修一、寺田明彦、藤井洋輔。受動喫煙と小児アレルギー疾患に関するシステマティックレビュー。日本小児アレルギー学会誌 2021; 35: 152-169。

2. 受動喫煙防止への提言

- 提言 1：受動喫煙は小児喘息を発症させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 1 エビデンスレベル A)
- 提言 2：受動喫煙は小児喘息を重症化させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 1 エビデンスレベル A)
- 提言 3：受動喫煙は小児において呼吸機能を低下させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 1 エビデンスレベル A)
- 提言 4：受動喫煙は小児において咳嗽や痰を増加させる可能性が高いため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 1 エビデンスレベル B)
- 提言 5：受動喫煙は小児アレルギー性鼻炎の発症と増悪に関するリスク因子であるため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 2 エビデンスレベル C)
- 提言 6：胎児期の曝露により感作が促進される可能性は高くない一方で、乳児期は受動喫煙による抗原感作への影響が大きいことが示唆されるため、受動喫煙を防ぐことを推奨する。(推奨度 1 エビデンスレベル B)

エビデンスレベル

A (高い)	結果はほぼ確実であり、今後研究が新しく行われても結果が大きく変化する可能性は少ない
B (低い)	結果を支持する研究はあるが十分ではないため、今後研究が行われた場合に結果が大きく変化する可能性がある
C (とても低い)	結果を支持する質の高い研究がない

推奨の強さ

1：強い推奨 (Strong)	行うことによる望ましい効果(利益)が望ましくない効果(害・負担・コスト)を上回る、または下回る確信が強い
2：弱い推奨 (weak)	行うことによる望ましい効果(利益)が望ましくない効果(害・負担・コスト)を上回る、または下回る確信が弱い

以上

本件に関する取材等お問合せ先
 日本小児アレルギー学会事務局
 TEL：03-6806-0203／E-mail:info@jspaci.jp